

少年時代の記憶

1936(昭和11)年6月27日に兵庫県多可郡西脇町に生まれた横尾さんは、20歳まで西脇市で過ごしました。市内には、横尾さんならではのユニークなエピソードが散りばめられています。

1 西脇小学校/幼稚園

1942年 西脇町立幼稚園入学。
1943年 西脇国民学校に入学。
小学2年生の時、床掃除の指導が悪く、担任の先生から罰として、級長を降ろされたり、授業中に、窓から身を乗り出して飛行機を見たことの罰として、階段下の掃除道具入れの中に閉じ込められたりと様々な事件を巻き起こしました。

2 UFO(童子山)

大学進学を決意し、塾に通った帰り道、友人たちと商工会議所の上空、数十メートルの所に洗面器大のオレンジ色の光体(UFO)を目撃しました。

3 文化堂書店(跡地)

中学の帰りに立ち寄った際、南洋一郎著・鈴木御水画の『片眼の黄金獅子』の装飾的で美しい装丁に目を奪われ購入し、胸を躍らせました。

4 村上駄菓子屋(跡地)

横尾さんが毎日のように通っていた駄菓子屋さん。おこづかいをもらい、野球選手のプロマイド、くじ、ビー玉等を買っていました。

5 銭湯「日の出湯」(跡地)

横尾さんが通った銭湯。富士山と帆掛け舟の壁画、番台ごしにちらっと見える女湯、友だちに会えることを楽しみにしていました。

6 亀

小川で獲った亀の腹に「タダノリ」と彫り、放流した2~3年後、この場所で奇跡的に同じ亀と再会を果たし、父親と喜び合いました。

7 コブナ釣りの溝

魚釣りが好きだった横尾さんがコブナを釣っていた場所。

8 萩ヶ瀬橋(跡地) 洪水で橋が流された場所

3歳の時、加古川の洪水で橋が流され、架設の橋を自転車でも渡る父の姿を母の背中で見つめた光景は、横尾さんが生まれて最初に記憶した光景です。

9 空襲方角 西脇から見た明石、神戸方面

横尾さんは、9歳まで戦争を体験しました。夜になると明石や神戸が空爆され、40km近く離れた西脇からでも空襲の炎で真っ赤に染まる空が見えました。

発行元

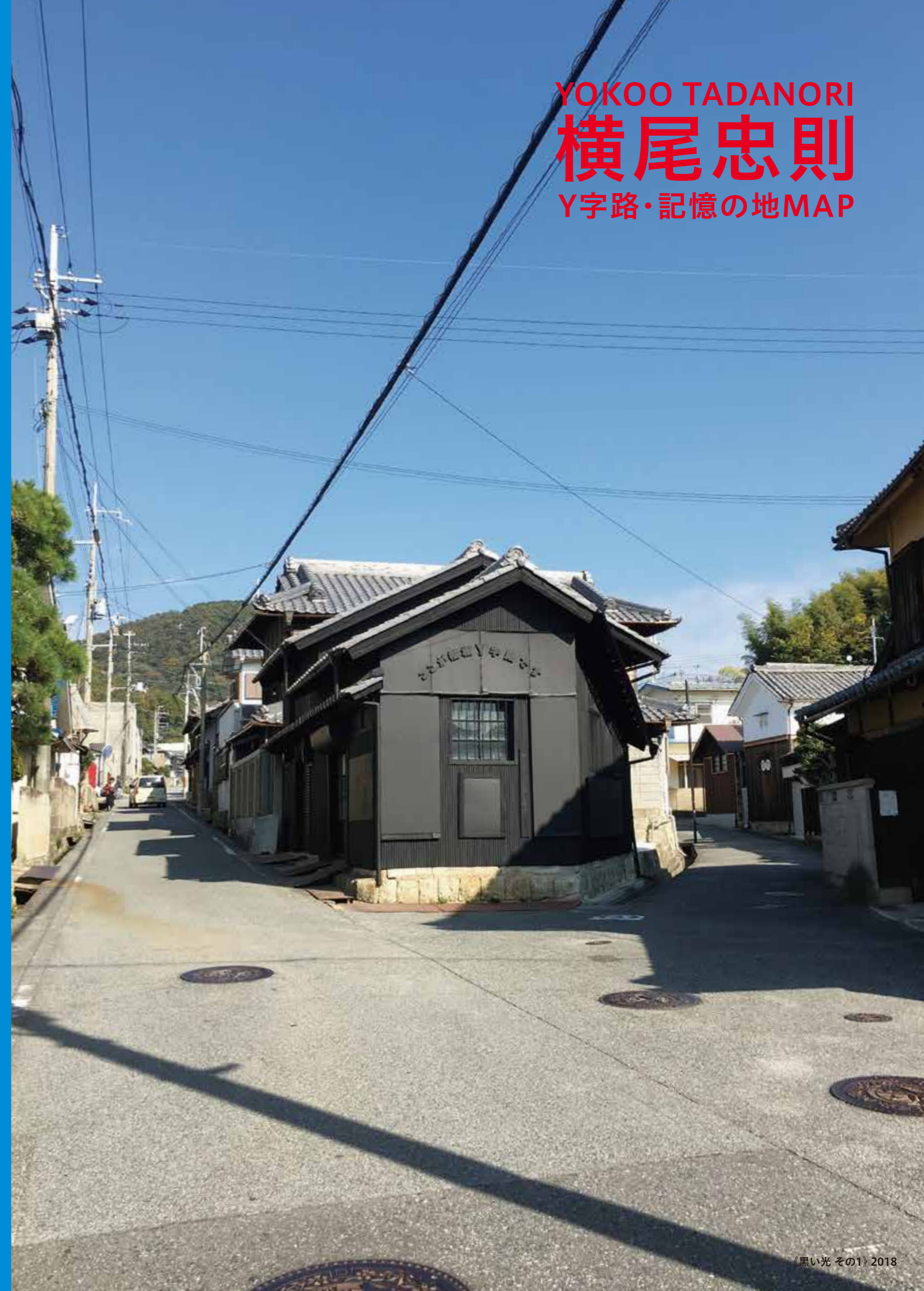
西脇市・西脇市教育委員会
(公財)西脇市文化・スポーツ振興財団 西脇市岡之山美術館

お問い合わせ

西脇市岡之山美術館：兵庫県西脇市上比延町345-1 TEL/0795-23-6223
* 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)と祝日の翌日



YOKOO TADANORI
横尾忠則
Y字路・記憶の地MAP



横尾忠則作品

横尾さんの作品には少年時代の記憶や、故郷のモチーフ、イメージを取り入れたものが多くあります。また、高校生の時からアルバイトで町の商店の包装紙やロゴマーク、ポスターのデザインを多く手掛けました。西脇市内には既に跡地となった場所もありますが、今も残る題材となった地や、横尾作品を実際に観る事が出来る場所も多くあります。

A 岡之山美術館

展示中

西脇市上比延町345-1 ☎0795-23-6223

横尾さんの作品を収蔵している小さな美術館。現代美術家の作品を企画展示しています。個性的な建物は世界的建築家の磯崎新さんの設計。外にある横尾さんの陶板壁画《Lisa Lyon in Nishiwaki, April 18, 1984》は迫力満点です。



《Lisa Lyon in Nishiwaki, April 18, 1984》1984/岡之山美術館蔵

B 日本へそ公園駅

西脇市上比延町

1985年に開業したJR加古川線の駅。日本へそ公園の最寄り駅です。《東経135度北緯35度のキーホール》は、1996年に岡之山美術館で開催された展覧会に出品する為、西脇に滞在して制作された作品。涅槃像が日本へそ公園駅の駅名標、播州織のラベルに描かれた女性を見つめている様子が描かれています。



《東経135度北緯35度のキーホール》1996/作家蔵

C 日本へそ公園

西脇市上比延町

日本列島の中心を示す東経135度・北緯35度が交差する「日本のへそ」に位置する公園。園内にある「へそモニュメント」を巡ってみよう！横尾さんがへそ公園をピンク化するアース・ワーク構想を作品化した1981年の貴重なドローイング作品10点は岡之山美術館に収蔵されています。



《アースワークシリーズ》1981/岡之山美術館蔵

D にしわか経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

展示中

西脇市上比延町334-2 ☎0795-23-2772

地球・宇宙をテーマにした科学館。建築は毛綱毅曠さん。エントランスには横尾さんデザインの12星座のモニュメントがあります。また、館内にも横尾さんのタペストリー《天地流転》が展示されています。



《天地流転》テラ・ドーム蔵 《12星座モニュメント》1992/テラ・ドーム蔵

E 西林寺

PHOTO SPOT

西脇市坂本455 ☎0795-22-2387

高野山真言宗の仏教寺院。別名あじさい寺と呼ばれ、6月になると数万本ものあじさいの花が咲き誇ります。また、早春に開花する「唐子ツバキ」は、樹齢200年以上の古木で、兵庫県指定文化財に指定されています。境内には墓があり、《アダージョ》1958）、《霊骨》にも描かれています。



《アダージョ1958》2000 京都国立近代美術館蔵



《霊骨》2001 横尾忠則現代美術館蔵

F たねや(跡地)

西脇市西脇

22歳の時、かつて西脇で贈答業を営業していた「たねや」の包装紙とロゴマークのデザインを手掛けました。



《たねやロゴマーク、包装紙》1958

G (株)大阪屋

展示中

西脇市西脇134 ☎0795-22-2768

20歳の時、西脇市の靴屋「大阪屋」のロゴマークのデザインを手掛けました。現在も使用されています。



《大阪屋ロゴマーク》1956

H 蓬萊座(跡地)

西脇市西脇

西脇に昭和42年まであった小さな劇場。父親とともに映画「ターザン」を観た少年時代の記憶は後の作品にも生かされることになりました。



《HORAIZA》2001/横尾忠則現代美術館蔵 《いつか見た時代劇映画》2003/横尾忠則現代美術館蔵

I 生活文化総合センター

西脇市西脇790-14 ☎0795-23-5992

織物と西脇市の歴史や昔の暮らしをテーマにした郷土資料館には横尾さんの作品に登場する播州織の輸出用ラベルが見れます。



《Why? Nishiwaki》2001/横尾忠則現代美術館蔵 《Hi Hi》2000/作家蔵 《Lion Fight》2000/作家蔵

J 旧県立西脇高等学校(跡地)

西脇市西脇

横尾さんが通った西脇高等学校は、現在の童子山公園にありました。敷地内には「跡地記念碑」が残っています。文化祭の《西高祭ポスター》は、17歳の横尾さんが初めてデザインしたものです。レタリングが得意な横尾さんが手書した文字が印象的です。※岡之山美術館でプリントポスターが購入できます。



《西高祭ポスター》1953

K 旧来住家住宅隣

西脇市西脇

2000年開催の「横尾忠則 記憶の光景展」に出品する為、西脇に滞在して描かれた《ベルベットナイト》は、市内を夜間に取材したことで生み出されました。黒のベルベットに絵の具を乗せ、闇の中の故郷を表現した上品でユニークな作品です。



《ベルベットナイト》2000/横尾忠則現代美術館蔵

L 住吉屋

取扱中

西脇市西脇974 ☎0795-22-3198

横尾さんが高校生の時にデザインした包装紙を現在も使用している和菓子屋さん。横尾さんはこの店のわらび餅が大好き！店内には横尾さんのサインもあります。



《住吉屋包装紙》1953

M (株)みます屋

西脇市西脇957 ☎0795-23-3248

22歳の時、西脇の呉服屋「北垣呉服店」の包装紙のデザインを手掛けました。現在は、「株式会社みます屋」と店名を変えて営業されています。



*現在はこの包装紙を使用していません。《北垣呉服店包装紙》1958

N 西脇市立音楽ホール「アピカホール」

展示中

西脇市西脇991 ☎0795-23-9000

主にクラシック演奏会を開催するコンサートホール。ロビーには、アメリカの画家マーク・コスタビとのコラボレーション作品が展示されています。



横尾忠則&マーク・コスタビコラボレーション《非対称の構図》1983

O 西脇時報社(跡地)

西脇市西脇

青年時代、西脇時報の連載小説「釣鐘」の挿絵や掲載カットを描くアルバイトをしていました。掲載カットの一部は岡之山美術館発行「横尾忠則と西脇展」カタログにも載っています。



《西脇時報連載小説「釣鐘」挿絵》1956 《西脇時報掲載カット》1951

P 旧コケシテープ製造(株)

西脇市和田町

口止め用テープ「コケシテープ」の商品ポスターやカレンダー、パッケージデザイン等を手掛けました。※岡之山美術館でプリントポスターが購入できます。



《コケシテープ(前)ポスター》1955 《コケシテープ(前)ポスター》1956

Q 西脇郵便局

取扱中

西脇市野村町1796-481 ☎0795-22-3750

高校時代にアルバイトをしていた郵便局。岡之山美術館と、にしわか経緯度地球科学館「テラ・ドーム」が描かれた横尾さんデザインの素敵な風景入り通信日付印があるのを押印してもらおう！



《西脇風景入り通信日付印》1999

U 新西脇駅

西脇市和布町

JR加古川線の駅。横尾家の最寄り駅だったことから、駅舎やホーム等が登場する作品が多く制作されています。



《骨》1999/作家蔵



《彼岸へ》2000/作家蔵 (東京都現代美術館寄託)



《家》2003/作家蔵 (21歳の時に描いた。これは横尾さんの家だった。横尾さんでイタシ、彼は横尾さん。45歳の頃、横尾さんへ送った。2001/作家蔵(東京都現代美術館寄託))



《骨Part II》2003/作家蔵



《友の不在を思う》2003 横尾忠則現代美術館蔵



《鎮魂歌》2012/作家蔵

R 県立西脇高等学校

西脇市野村町1794-60 ☎0795-22-3566

1974年に童子山から移転した横尾さんの母校西脇高校の2階ピロティには、横尾さんから寄贈された巨大で色彩豊かな陶板壁画と、幾何学的なUFOがコミカルに表現されたシルクスクリーン作品3点が展示されています。



《無題》



《Agartal》《Agartall》《Agartall III》すべて西脇高等学校蔵

S 西脇市駅

西脇市野村町

JR加古川線の駅。2004～2012年まで、加古川線では横尾さんの絵で車体を包み込んだ種類のラッピング電車が走っていました。インパクト抜群♪ 書籍「横尾忠則ラッピング電車故郷を走る」(淡交社)



《見る見る早い》2004-2012



《銀河の旅》2004-2012



《滝の音、電車の音》2004-2012



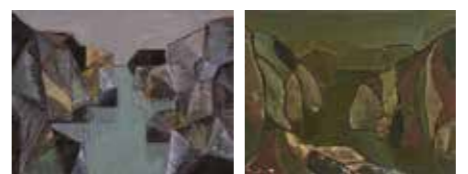
《走れ！Y字路》2004-2012

T 闘龍灘

PHOTO SPOT

加東市上滝野

奇岩に阻まれた激流が流れる名勝。飛び鮎の名所としても知られています。高校時代、横尾さんは闘龍灘を訪れ、この地を舞台にした、「岩と水」を描きました。現代の滝シリーズの原点ともいえます。



《岩と水》1954 岡之山美術館蔵



《岩と水》1954 横尾忠則現代美術館蔵

V 鉄橋下

PHOTO SPOT

西脇市和布町

父親との思い出が詰まった鉄橋の下で幼なじみたちと10数年ぶりに集まり、記念撮影。その写真と亡くなった同級生のポートレートをもとに描いたのが大作《記憶の鎮魂歌》です。同じ場所、同じ構図で記念写真を撮ってみよう！

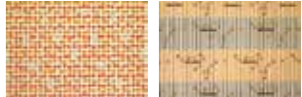


《記憶の鎮魂歌》1994/作家蔵(横尾忠則現代美術館寄託)

W (株)OZAWA

西脇市堀町

22歳の時、西脇の織布会社「小沢織物(株)」の包装紙デザインを手掛けました。現在は「(株)Ozawa」に社名を変更し、播州織産地の地域社会活性化・発展に貢献されています。※現在はこの包装紙を使用していません。《OZAWA包装紙》1958



X 高嶋町付近

西脇市高嶋町

2000年に岡之山美術館で開催された記憶の光景をテーマにした展覧会に出品するため、西脇に滞在し、市内を取材しながら制作した作品。川原でお盆の迎え火をする様子が描かれています。



《川原の火》2000/作家蔵(横尾忠則現代美術館寄託)

Y 多可町立杉原紙研究所

多可郡多可町加美区鳥羽768-46 ☎0795-36-0080

兵庫県の重要無形文化財・伝統的工芸品に指定されている歴史と伝統を持つ杉原紙を製作する工房。横尾さんは、播州織の輸出用ラベルや、ハギレ、まち針、ハンガーなど個性的なモチーフを渡さ込んだ杉原紙の作品を1996年から現在まで多数制作しています。



《メタモルフォーゼ》2017/作家蔵 《フィクション》2018/作家蔵

Z 松井庄郵便局

取扱中

多可郡多可町加美区寺内122-8 ☎0795-35-0050

横尾さんがデザインを手掛けた素敵な風景入り通信日付印があるので押印してもらおう！天然記念物の千本杉と笠形山千ヶ峰県立自然公園の滝が描かれています。



《松井庄風景入り日付印》1999

横尾忠則 Y 字路

横尾さんの代表作ともいえる絵画「Y字路」は、2000年からスタートしました。故郷西脇を訪れた際、横尾さんは少年時代に足しげく通ったホビー模型店が無くなったことを知り、跡地を夜の闇の中でフラッシュ撮影しますが、現像された写真の中に懐かしいふさとの風景はありませんでした。ノスタルジーから切り離されたひとつの普遍的な風景に感化され、絵画《暗夜光路N市-1》を制作し、以降、制作されたY字路作品は150点を超えます。西脇市内にはY字路の舞台となった場所が12箇所あり、原点となった椿坂(ホビー模型店跡)は家屋のありのままの姿を、黒一色で封印した初のY字路立体作品《黒い光 その1》として公開しています。

- 横尾忠則 Y 字路
 - トイレ
 - 駐車場
 - 横尾忠則作品
 - 播州ラーメン
 - 横尾忠則の思い出
 - 西脇ローストビーフ
- 横尾忠則作品と横尾忠則の思い出は裏面にあります

1 西脇市黒田庄町岡
西脇市黒田庄町岡1065付近

《闇の樹木》2002 作家蔵

2 森本石材店
西脇市西脇658付近

《帰還》2003 個人蔵

3 生活文化総合センター 駐車場南
西脇市西脇801付近

《N市 霧の夜》2002 作家蔵

4 村上喜兵衛邸西
西脇市西脇373付近

《暗夜光路N市-III》2000 作家蔵

5 椿坂(ホビー模型店跡)
西脇市西脇694

《暗夜光路N市-I》2000 横尾忠則現代美術館蔵

《暗夜光路N市 I-B》2003 横尾忠則現代美術館蔵

《Double Y-Junction》2006 作家蔵

6 あたりや付近
西脇市西脇464付近

《黒い光 その1》2018 作家蔵

《回転する家》2018 作家蔵

《赤い故郷》2008 作家蔵

7 HARU PAL 美容院
西脇市西脇144付近

《夢の中の記憶》2006 作家蔵

8 日の出精肉店北(耕地整理記念標石場所)
西脇市西脇145付近

《暗夜光路N市-II》2000 個人蔵

《暗夜光路N市 II ふたたび》2002 個人蔵

《暗夜光路N市 II 三度(みたび)》2002 作家蔵

《暗夜光路N市 II 四度(よたび)》2003 個人蔵

9 旧八〇亭
西脇市西脇122付近

《暗夜光路N市-V》2000 個人蔵

10 住吉屋南(樓)
西脇市西脇974付近

《樓のある風景》2002 作家蔵

11 蛭田理研(株)前
西脇市西脇1161付近

《暗夜光路N市-IV》2000 作家蔵

12 野村踏切南(スナックラーメン跡地)
西脇市野村町159付近

《無色透明な意志》2002 作家蔵

拡大図

この拡大図は、西脇市の中心部、特にY字路の舞台となった場所を詳細に示しています。赤いY字路のアイコンが12箇所あり、それぞれが上記のリストと対応しています。また、生活文化総合センター、旧西脇高等学校跡地、森本石材店、村上喜兵衛邸西、椿坂(ホビー模型店跡)などの重要なランドマークも明確に示されています。道路網、河川(加古川)、公園なども描かれています。

この図は、西脇市全体の地理的な位置と交通網を示しています。Y字路探訪モデルコースが赤い線で示されており、西脇市駅(西脇市野村町)からスタートし、住吉屋南(樓)まで徒歩約60分、距離約5kmのルートが示されています。また、周辺の市町村(多可町、加東市)や主要な交通機関(JR谷川駅、JR加古川駅、中国自動車道)も示されています。

Y字路探訪モデルコース

西脇市駅(西脇市野村町) → 蛭田理研(株)前 → 住吉屋南(樓) → 旧来住家住宅隣 → 村上喜兵衛邸西 → 生活文化総合センター 駐車場南 → 童子山 → 椿坂(ホビー模型店跡) → 播州織工房館 → HARU PAL 美容院 → 日の出精肉店北 → 旧八〇亭 → 新西脇駅 (徒歩の場合 距離 約5km 時間 約60分)